

化学療法プロトコール登録票

プロトコール名

CapeOX(胃癌)

対象 治癒切除不能な進行・再発の胃癌

投与順	抗癌剤名	投与量	手技	投与時間・速度	投与日(d1,d8等)
1	オキサリプラチン	130mg/m ²	DIV	2H	Day1
内服	カペシタビン	2000mg/m ² /日	経口	1日2回	Day1~Day14 (day1夕~day15朝)

1コース期間 3週間

総コース数 特に規定せず。

コース間での休薬の規定 第2コース目以降、血液毒性がGrade3以上の場合、もしくは非血液毒性がGrade2以上であれば休薬する。Grade1以下に軽快後、以下の投与基準に従って投与再開する。

投与量の増量規定 なし

減量規定・中止基準

【カペシタビン】

- ・非血液毒性がGrade2以上で続いている場合や、1,000/mm³未満の好中球減少、もしくは75,000/mm³未満の血小板減少がある場合、その副作用が回復するまで治療を延期する。
- ・Grade 4 好中球減少(500/mm³未満)、またはGrade 3以上の血小板減少(50,000/mm³未満)が生じた場合には次のコースで1段階減量を行う。
- ・その他(悪心、食欲不振、神経障害などの非血液毒性)がGrade3以上生じた場合は次のコースで1段階減量を行う。

【オキサリプラチン】

- ・Grade4の好中球減少(500/mm³未満)、またはGrade3以上の血小板減少(50,000/mm³未満)が生じた場合は1段階の減量を行う。
- ・Grade 3以上の非血液毒性(悪心、食欲不振、神経障害など)が生じた場合には、1段階の減量を行う。

L-OHP:130mg/m²⇒100mg/m²⇒85mg/m²

カペシタビン投与量		カペシタビン減量時投与量		減量1段階	減量2段階
体表面積	1回量	1.41m ² 未満		900mg	600mg
1.36m ² 未満	1200mg	1.41m ² 以上1.51m ² 未満		1200mg	
1.36m ² 以上1.66m ² 未満	1500mg	1.51m ² 以上1.81m ² 未満		1500mg	900mg
1.66m ² 以上1.96m ² 未満	1800mg	1.81m ² 以上2.1m ² 未満			1200mg
1.96m ² 以上	2100mg	2.11m ² 以上			

コースによる変化 なし

投与間隔の短縮規定 なし

2コース目以降の投与開始基

PS0-2
 好中球数: 1,500/μL以上
 血小板: 100,000/μL以上
 血清ビリルビン ≤ 施設基準値 × 1.5
 AST ≤ 施設基準値 × 2.5 ALT ≤ 施設基準値 × 2.5
 アルカリホスファターゼ ≤ 施設基準値 × 2.5
 Ccr: 41mL/min以上

注意すべき副作用

【オキサリプラチン】
末梢神経障害、悪心・嘔吐、食欲不振、腎機能障害、白血球減少症、好中球減少症、血小板減少症

【カペシタビン】
手足症候群、下痢、好中球減少症、血小板減少症

CapeOX

1コース期間 21日間
 所要時間 2時間30分

ルート	Rp	薬剤名	標準投与量	投与方法	投与速度	投与時間	d1	d15
主管	1	カイトリルバッグ 100mL デカドロン 3.3mg ★イメンド125mg 1cap内服		div	400ml/hr	15min	○	
	2	5%ブドウ糖 500mL オキサリプラチン【 】mg デカドロン 3.3mg	130 mg/m ²	div	250ml/hr	120min	○	
	3	生食 50mL		div	200ml/hr	15min	○	
内服薬		ゼローダ	2000 mg/m ² /日	経口	分2	朝夕食後	day1-day14 (day1夕→day15朝)	

コメント

Day1: イメンド125mg、Day2、3: イメンド80mg 内服
 *初回投与時、ヒルドイドクリーム4本処方
 ゼローダはday1朝～day14夕でも可。

カペシタビン投与量	
体表面積	1回量
1.36m ² 未満	1200mg
1.36m ² 以上1.66m ² 未満	1500mg
1.66m ² 以上1.96m ² 未満	1800mg
1.96m ² 以上	2100mg

Reference: